

組報  
第5号

# みなみそ

2006.3.1

No.5

浄土真宗本願寺派東京教区南組 大田区萩中1-11-24 善永寺内 TEL.3739-5641



## 「親鸞聖人750回大遠忌に向けて」

昨年1月、ご門主さまより『親鸞聖人750回大遠忌についてのご消息』が発表されました。来る2011(平成23)年にお迎えする、親鸞聖人750回大遠忌法要に向け、私たちがいかに現代社会に応えうる宗門を築いていくか、その指針を示して下さいました。本年10月には南組の皆さまへの「ご消息の披露」がございます。今後は、南組といたしましてもご消息のお心を体して、さまざまな取り組みをして参ります。どうぞ皆さま、これからの組や各ご寺院の行事に積極的にご参加下さい。そしてみ教えをよりどころとして、すべての人に優しくあたたかな社会を目指して共に歩みましょう。

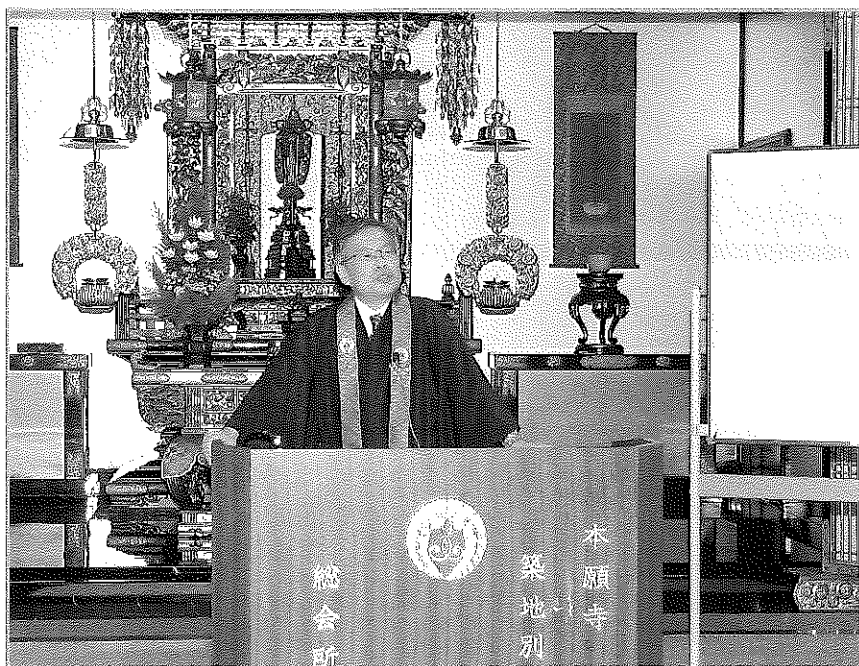
南組仏法講座・連研(第八回)

## 浄土真宗とは

講師

世田谷組 実相寺 住職

野生司 祐宏 師



私たちの浄土真宗は、今から八〇〇年近く前に、親鸞聖人によって開かれました。浄土真宗のみ教えは「いつでも、どこでも、誰でも救われる」というところに特徴があります。それを端的に表しているのが、「悪人正機」という言葉です。これは『歎異抄』第三章の「善人なほもつて往生をとぐ。いはんや悪人をや」からきています。悪人が往生できるのであれば善人が往生できて当たり前、というのが、世間一般の常識ですが、親鸞聖人は逆に「善人さえ往生できるのでから、悪人が往生できないわけがない」とおっしゃったのです。

ここで問題になるのが「悪人」という言葉です。今日、普通に悪人と聞くと、法律を犯したような人、つまり犯罪者が想像されます。私は毎月、教誨師の仕事で府中刑務所へ出かけます。さぞかし極悪非道な人ばかりが集められているだろう、と思われるかもしれませんが、実際に多いのは心が弱い人です。自分を抑えられないため、ついつい犯罪に走ってしまった、そんな人たちです。

親鸞聖人の言う悪人は、もちろん犯罪者という意味ではありません。煩惱にま

みれた愚かな私たち自身のことなのです。本来なら仏教徒として守らなくてはならない戒律もなかなか守れない、というのが私たち凡夫です。例えば食事の時、魚や肉を食べれば、これは、

あらゆる生き物の命は奪ってはならないという「不殺生戒」を犯していることになりす。しかし悪いことをしているなどとは露ほども思わず、おいしいおいしいと、毎日たくさん他の命をいただいて生きているのが私たちです。

阿弥陀如来は、このように「悪」を自覚すらしていないような私たち凡夫を、お慈悲の光で包み、救い取って下さいませ。これに應えるために、私たちは聞法を欠かさず、「南無阿弥陀仏」という御恩報謝のお念仏を称える日暮らしをさせていただくのです。



〔二〇〇五年(平成十七)年十月八日  
築地別院 参加 一〇二名〕

南組仏婦総会・研修会

「み教えを

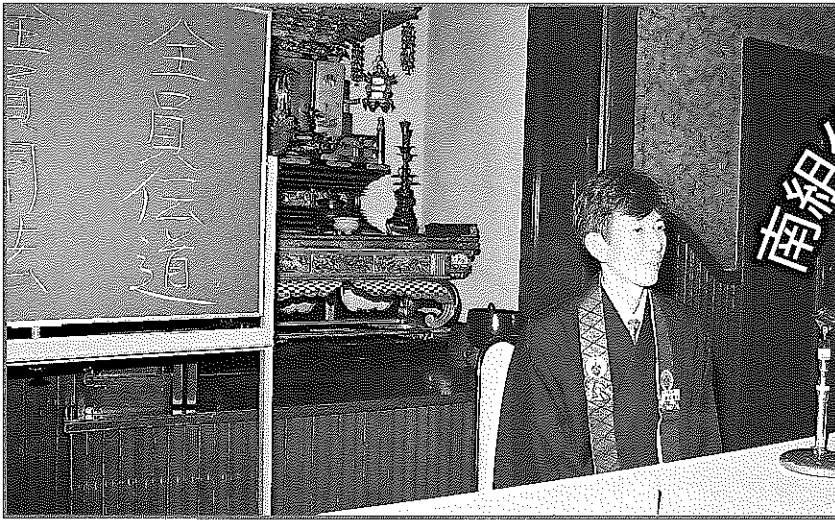
つたえる」

講師

中央相談員

神奈川組 高願寺 住職

宮本 義宣 師

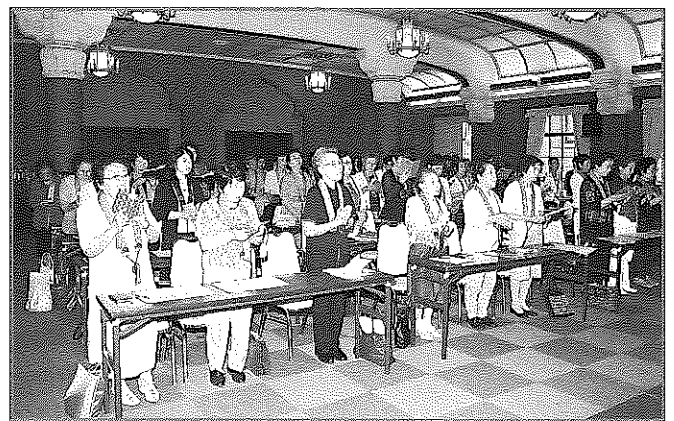


お寺や家庭に生まれた、あるいは嫁いだという事だけで、浄土真宗のみ教えに生きるという生き方とは別の物にはなっていないでしょうか、という問いかけでもありました。

私たち僧侶や門徒がみ教えを聞き、問い、語り合える場があり、そのような生き方をする事が全員伝道、全員聞法の基本ではないでしょうか。

また、現代社会の問題などにも浄土真宗はどう考えていくのかとか、私自身のこととして関心が及ぶ事も大切ですね。私たち一人一人が生活していくなかで、思い当たっているみ教えでありたいと思います。

ところで、昔はお念仏の教えは家庭の中で自然に伝わることができました。しかし



今では生活様式の変化などから、私たちが努力しなければ伝わっていかない状況を認識しなければなりません。何を伝えるかというところ、み教えが、私たちの人生全体にわたって共に歩んでくださるよりどころとなることを伝えてゆきたいのです。

〔二〇〇五(平成十七)年六月十四日  
築地別院 参加 七十四名〕

2004(平成16)年9月から始めました南組連研(南組連続研修会・全12回)も10回を数え、残すところあと2回となりました。連研に参加されている方には、ここで少し昔を思い出して頂き、まだ参加された事のない方には、どのようなことをしているのかをご紹介しますつつ、これまでの連研を振り返ってみたいと思います。各回とも、基本的に下記のような流れで進めております。

・真宗宗歌斉唱

開会に当たり、「真宗宗歌」を歌います。

・お勤め

浄土真宗のお勤め(勤行)にもいろいろな種類があります。その中からピックアップしてお勤めいたします。これまでに次のようなお勤めをいたしました。

「正信偈」

「讚仏偈」

「重誓偈」

「十二礼」

「らいはいのうた」

「しんじんのうた」

など

・浄土真宗の生活信条を唱和

一、み仏の誓いを信じ

尊いみ名をとなえつつ

強く明るく生き抜きます

一、み仏の光をあおぎ

常にわが身をかえりみて

感謝のうちに励みます

一、み仏の教えにしたがい

正しい道を聞きわけて

まことのみのりをひろめます

一、み仏の恵みを喜び

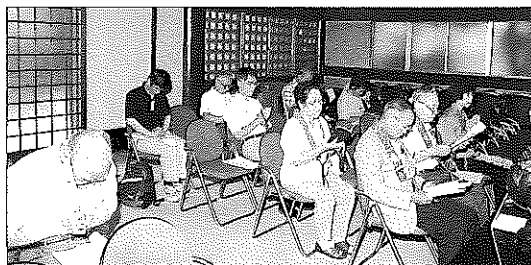
互にうやまい助けあい

社会のために尽くします

・組長挨拶

・ひとくち法話

南組の若手僧侶や門徒推進員から、短いご法話を頂きます。



第一回(二〇〇四年九月四日)

講師 高輪真澄師

テーマ「私にとつての真宗」

第二回(二〇〇四年十二月十一日)

講師 多田恵章師

テーマ「身近な仏教・真宗」

第三回(二〇〇五年二月十九日)

講師 上島昌彦師

テーマ「日常の仏事、お仏壇・年回法要・葬儀」

第四回(二〇〇五年三月五日)

講師 田ノ倉亮爾師

テーマ「浄土真宗とは」(聞名と聴聞)



# 第四期

# 南組連続研修会

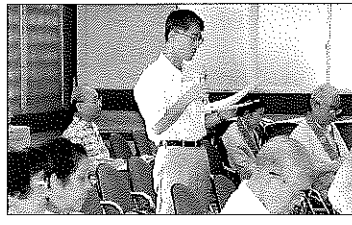
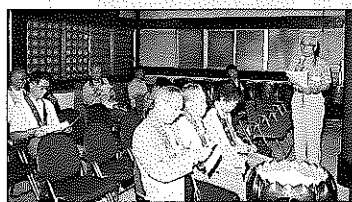
・法語拝読

浄土真宗のお聖教の中から、毎回違ったものを選び出し、共に声を出して拝読いたします。

・仏教讃歌の練習

数ある仏教讃歌の中からポピュラーなものを抜粋して、連研のための「仏教讃歌歌集」を作りました。毎回一曲ずつ練習をいたします。これまでに次のような曲を練習いたしました。

- 「礼讃歌」
- 「ちかいのうた」
- 「宗祖降誕会」
- 「報恩講の歌」
- 「しんらんさま」
- 「み仏にいだかれて」
- 「みほとけは」
- など



・話題提供のお話

毎回テーマを掲げて、ご講師の先生にお話を頂きます。各回のテーマは下記をご覧下さい。

・話し合い法座

話題提供のお話の内容を参考に、全体で、或いは班別に分かれて話し合いを致します。

班別の話し合いでは、各班であらかじめ座長と発表者を決めます。座長を中心に話し合いを進め、終了後に発表者から内容を発表して頂きます。

・まとめのお話

話し合いをうけて、ご講師の先生から、まとめのお話を頂きます。

・恩徳讃斉唱

最後に「恩徳讃」を斉唱して、閉会いたします。

第五回(二〇〇五年四月十六日)

講師 田ノ倉亮爾師

テーマ「お浄土とはどんなところ  
なのでしょいか」

第六回(二〇〇五年六月十八日)

講師 平野健司師

テーマ「いのちをめぐる課題」

第七回(二〇〇五年九月三日)

講師 藤澤正徳師

テーマ「全戦没者追悼法要と靖国問題」

第八回(二〇〇五年十月八日)《仏壯講座と併せて》

講師 野生司祐宏師

テーマ「浄土真宗とは」

第九回(二〇〇五年十二月三日)

講師 藤澤正徳師

テーマ「人権問題・差別について」

第十回(二〇〇六年二月十一日)

講師 多田恵章師

テーマ「高齢社会とピハハラ活動」

今後の予定

第十一回(二〇〇六年四月一日)

講師 新作博明師

テーマ「家庭・寺院・地域での活動の活性化」

第十二回(二〇〇六年六月十七日)

講師 高輪真澄師

第四期連研のまとめ、修了式

## 南組総代研修会

## 「お寺を元気にしよう」

講師：西教寺 住職 上島 昌彦 師



まず今日の現実として、お寺が社会からどのようなように見られているのかを考えてみましょう。

『親鸞聖人七五〇回大遠忌』についてのご消息』には、「今日、宗門を概観しますと、布教や儀礼と生活との間に隔たりが大きくなり、寺院の活動には門信徒が参加しにくく、また急激な人口の移動や世代の交代にも対応が困難になっています」とあります。

浄土真宗の盛んな地域では、どのお寺でも門信徒の組織をつくり、その組織が布教活動に関与し、多くの人が行事に参加されています。しかし都市部では、「お寺にどうお参りしたらよいのかわからない」という声が多く聞かれます。

またお寺に対してどういうイメージを持っているのかという調査では、多くの人が「葬儀供養」と答えています。

これでは「人々の悩みに応える活動を展開し、開かれたお寺にしよう」という宗門が目指す方向に進んでいません。そうした現実に対応するには、「各お寺ごと」という壁を取り払い、ご門徒の横のつながりを深めるのがよいのではないのでしょうか。

お寺や組の行事でさまざま

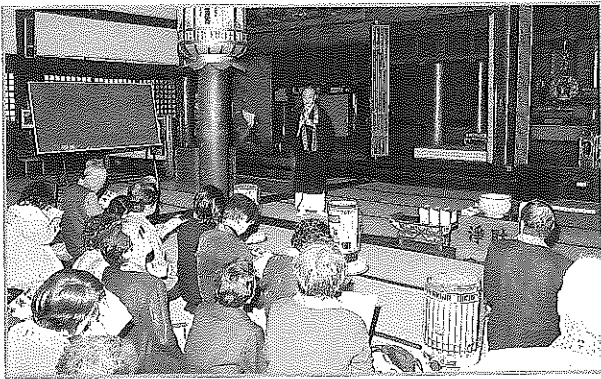
な出会いがあっても、家に帰ってしまうと、お寺を通じて知り合った方々との交流の機会が無いために、輪が広がりにくいのです。ですから住職がいない場での交流があってもよいと思います。

地域のご門徒が連携して、趣味の集まりをつくったり、専門家に依頼してビハーラや介護の窓口を立ち上げるなど、連携することによって活動が広がります。お寺には一、三十人が座れる大きなスペースがありますから、活用してみたいかがでしょうか。

そうしてお寺の行事に多くの方が集まれば、お寺を元気づける何よりの薬になるはずです。

〔二〇〇五(平成十七)年四月九日  
善永寺 参加二十九名〕

# 春の四国・瀬戸内 妙念仏の法



塩屋別院

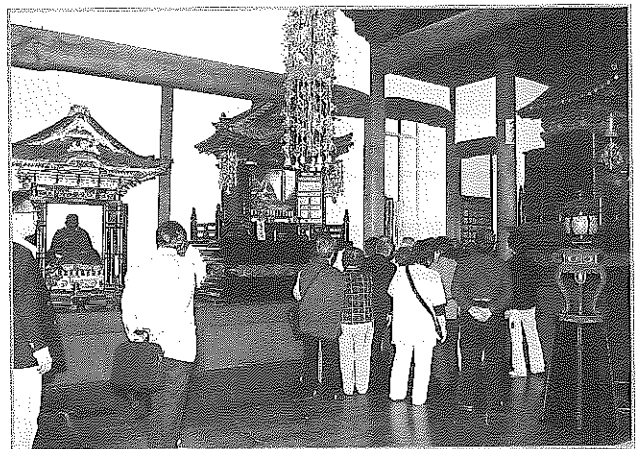


しまなみ海道遠影

四月の旅は、桜見物とはいかないものの、新緑のまぶしさを目に感じながら始まりました。

高松市にある法然寺の三仏堂（涅槃堂）は、お釈迦様の脈をとつ

ている名医善養の姿や、最期をみとり嘆く人々がとてもリアルで、平面的な文章よりも心に迫るものを感じました。この法然寺は第二番札所であり、時々すれ違うお遍路姿の方を見て、四国ならではの思える場所でした。丸亀市の本願寺塩屋別院にも参拝しました。もともと赤穂にあった教法寺があったのが始まりで、よりどころとして発展し、その後別院に改まったそうです。長い年月による傷みで修復中でしたが、作



法然寺

忘れて、ゆつくりと鑑賞できました。ここはもう一度訪ねたい美術館でした。

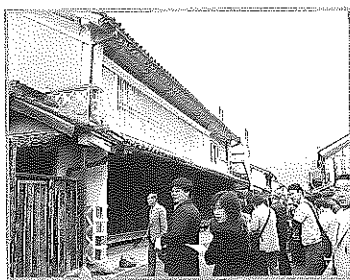
わたしにとって、早く移動することばかりが旅だとは思えません。今回のバス移動はその点でも楽しいものでした。

毎年の南組の旅は、いつも元氣印で出発し、何となく疲れを感じて帰ります。次回も参加できるかしらと思いつつ、また皆様方とご一緒できることを楽しみにしております。



妙覚寺門徒 岸 恵美子

〔二〇〇五(平成十七)年四月十九日〜二十一日 四国・瀬戸内方面 参加 五十八名〕



業はまだまだ続くようでした。帰りは「しまなみ海道」から瀬戸内の現状を見ました。島の方々はわたしが感じる以上に、陸続きになった便利さを味わっていることでしょう。伯方の塩工場そして平山郁夫美術館を見学しました。美術館の所在地である生口島があまりにもものんびりとしているので、時の流れを

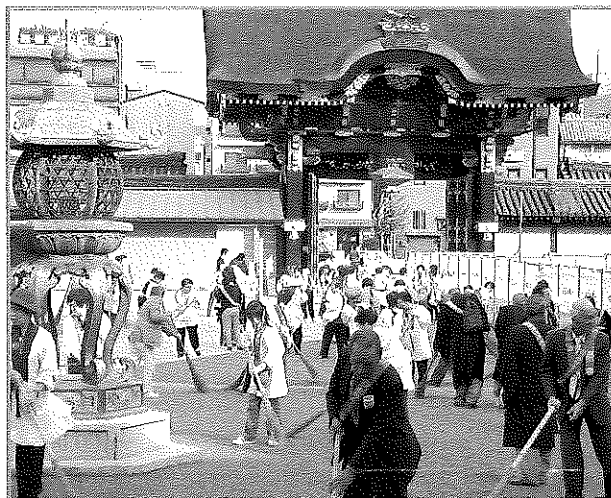
次回の団参は、「熊本・人吉隠れ念仏と長崎〜平和への誓いの旅〜」です。四月十九日〜二十一日の三日間、是非ともご参加下さい。お申し込み・お問い合わせは、お手次ぎのお寺へお願いいたします。

# 南組念仏奉仕団

二〇〇五(平成十七)年十月十八日  
 十九日の日程で、南組より本願寺念  
 仏奉仕団に参加して参りました。

今回は御影堂修復に伴う素屋根解  
 体工事の関係で日程が変則的になり、  
 一日目は開会式、清掃奉仕(総御堂・  
 白洲)と記念撮影、抹茶接待、書院参  
 観、二日目がお晨朝、朝食、清掃奉仕  
 (百華園)と飛雲閣見学とご法話、閉  
 会式、という流れで開催されました。  
 なお、二〇〇六(平成十八)年度の南  
 組念仏奉仕団はお休みいたします。

〔二〇〇五(平成十七)年十月十八日～十九日  
 京都二本山 参加 十八名〕



## 南組に所属する浄土真宗本願寺派(お西)のお寺です

西光寺	さいこうじ 品川区大井4-22-16	☎ 3777-6070
最徳寺	さいとくじ 大田区大森北3-18-25	☎ 3761-6811
徳浄寺	とくじょうじ 大田区大森東1-16-22	☎ 3761-4127
厳正寺	ごんしょうじ 大田区大森東3-7-27	☎ 3761-4945
久宝寺	きゅうほうじ 大田区本羽田3-17-1	☎ 3742-0886
海岸寺	かいがんじ 大田区本羽田3-17-6	☎ 3742-0921
福泉寺	ふくせんじ 大田区萩中3-27-10	☎ 3742-2048
光教寺	こうきょうじ 大田区中央4-35-3	☎ 3771-9408
専浄寺	せんじょうじ 世田谷区等々力6-7-10	☎ 3701-4753
報身寺	ほうしんじ 大田区萩中1-11-16	☎ 3738-0870
正覚寺	しょうかくじ 大田区萩中1-13-13	☎ 3731-9212

延徳寺	えんとくじ 大田区萩中1-12-17	☎ 3732-1472
福称寺	ふくしょうじ 大田区萩中1-12-20	☎ 3738-1720
妙覚寺	みょうかくじ 大田区萩中1-12-29	☎ 3738-3091
善永寺	ぜんえいじ 大田区萩中1-11-24	☎ 3739-5641
真光寺	しんこうじ 大田区萩中1-13-6	☎ 3731-5644
浄興寺	じょうこうじ 大田区東矢口2-10-9	☎ 3759-8673
唯称寺	ゆいしょうじ 品川区小山4-9-15	☎ 3782-2486
宗導寺	しゅうどうじ 目黒区目黒本町6-19-3	☎ 3712-6811
西教寺	さいきょうじ 品川区豊町1-8-12	☎ 3781-6154
善照寺	ぜんしょうじ 大田区南馬込4-9-11	☎ 3771-8700
永正教会	えいしょうきょうかい 目黒区鷹番2-17-5	☎ 3714-0767